

**政府機関の情報セキュリティマネジメントに関する
評価結果について
～2006年度の評価結果～**

2007年8月3日

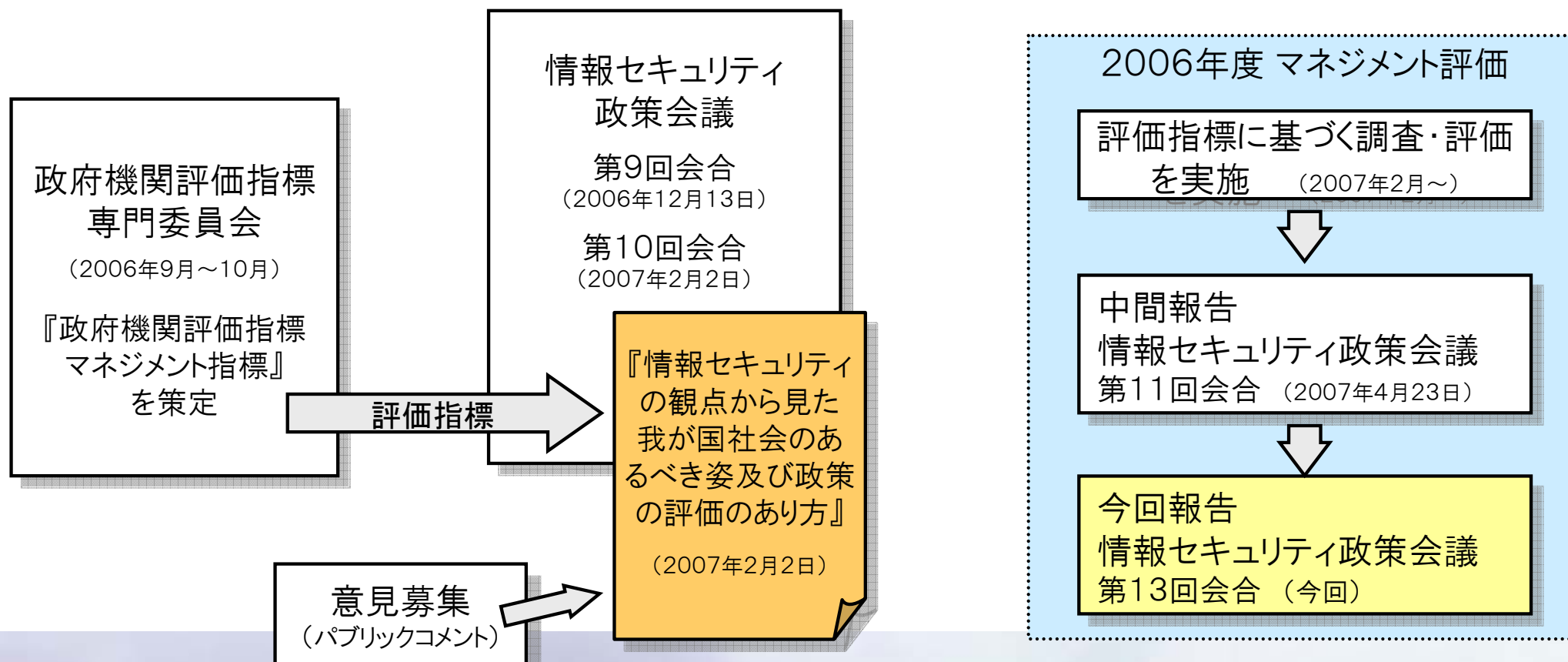
内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)

<http://www.nisc.go.jp/>

「マネジメント評価」

- 府省庁における情報セキュリティマネジメントがPDCAサイクルの各段階で確実かつ効果的におこなわれているかを評価
- 「計画」「周知」「実施」及び「評価と改善」の各段階にわたる45の評価指標に基づき府省庁におけるプラクティスを抽出し、評価

- ★★★ 政府内外を問わず模範となる先進的な取り組みを実践している
- ★★ 政府機関の模範となる工夫が見られる
- ★ おおむね適切に行われている



- 2006年度 情報セキュリティ・ベストプラクティス (詳細は資料3-2を参照)

★★★ 省内ネットワークを活用した職員の支援
 ・ eラーニングシステム ・ 実施手順等の運用

総務省 経済産業省

★★★ 幹部職員の下で全庁一体となった対策の推進

警察庁

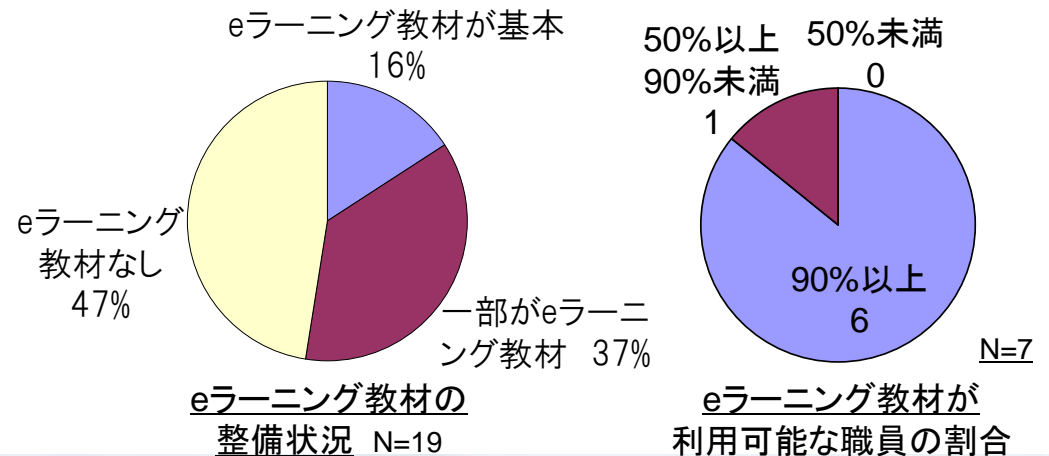
★★★ 外部委託における情報セキュリティの確保

外務省 防衛省

- 政府機関の模範となるプラクティス(★★★)は「計画」及び「周知」を中心に44件。 (詳細は資料3-3を参照)
- 政府内外を問わず模範となる先進的な取り組み(★★★★)は見られなかった。

- 各府省庁の体制等の調査結果 (政府機関の全体状況については資料3-4を参照)

- 情報セキュリティ担当者(常任)の職員に占める割合:
2%超=4府省庁、0.5%以下=7府省庁
- 情報セキュリティ担当者(常任)の平均経験年数:
1年～3年が中心
- eラーニング導入は府省庁全体では部分的:
「eラーニング教材が(一部でも)ある」=10府省庁



※eラーニング: コンピュータネットワークなどを活用して教育を行うこと